⑥帯小における伴走者の考え方 ～児童の主体性を高めるために

まず，授業を先導し，最後には後押し（後援）をして終える。それをつなぐ伴走者としての在り方について自走する子どもに対する多彩な関わり方や，発問の在り方がイメージされることが昨年研修を通して見えてきた。

先導者

問題意識をもたせる

提示的な問い
問題を教師の視点で引き出し,学びのステージへ誘い込む

事前アンケートの活用

道徳的価値への動機づけとなる発問

意識化・方向付け・掘り起こし

伴走者

児童の思考を促す

発問の工夫
自我関与をさせたり，当事者意識をもたせたりする発問の工夫

テーマ発問・投影的な発問・共感的な発問・行為の奥にある心情を問う発問・分析的な発問・批判的な発問・自我関与させる発問

支援的な問い
子どもの問いを束ねたり,明確にしたり全体に投げかけたりする調整的な問い

自走する子どもに寄り添う,修正する

仕掛け的な問い
子どもの問いによって様々な仕掛けをする

関わり方
否定せずに聞く・児童の発言を待つ・丁寧な言葉遣い・うなずきの理由を問う・意図的なペア交流・学びたくなるような環境を用意する

子ども

見守者

受容的な問い
- 話すやすい雰囲気づくり
- 環境づくり
- 声に出せない子の受け取り（道徳ノートより）

検討中

後援者

後押し的な問い
- 児童の発言に「～ということかい？」←価値付けする
- 教師のエピソードや説話

まとめ・念押し・明確化

関わり方
視覚支援(ネームプレートの活用)・座席の工夫
ノートへの記述サポート・発言しやすい雰囲気